



# friendship force TOKYO

ニュースレター第135号

フレンドシップフォース東京

2023年7月

納涼祭 7月9日開催

## この温もりは何！

平野 悅子

コロナ禍が少し緩和され、久しぶりにマスクなしの納涼祭に参加させていただいた。

それも徳川の由緒を残す松柏軒での。もう受付からこの年にかかわらず皆さんにチャン付で呼んで頂き若返った気持ち。お会いするどの顔も30年前と変わらず若く輝いている。まるで一緒に育った人たちの同窓会だ。今はもう60人位しかいない会員の40人近く参加していた。すごい出席率だ。ブッフェではなく着席スタイルの食事も落ち着けて良かった。

と言っても久しぶりの話に花が咲いてどのテーブルも姦しい。料理も美味しかった。私のテーブルは今年会員になられた若い方にお皿へのとりわけ等、我ら先輩に（敢て老人ではなく）気を配って頂きラッキー！の一言。美味しいいただいたワインもFFの理事の方たちの持ち込みとの事。物価高騰の余波を上手に

ノリ切ってますます旨い料理、ますます上手い手段、さすがですね。お酒も少しまわり、いつものクイズタイム。今年の問題はこれも担当者さんが猛検索した難問ぞろい。でもみんな解いていく。年なんて関係なくみんな頭が柔らかいな～。バザーも見ているだけで面白い。でもこの帰り際まで続いたえも言えぬほんわかした心の温もりは何？思い出に浸って年を取るのもまあ好いかな。二次会のカラオケ会が世話役が退会され出来なかったのだけがちょっと残念だったかな。



かけはし  
沖縄に旅行した時、港  
で大きな豪華船を見た。  
まるで海に建てたホテルという感じだった。  
旅を終え帰宅して  
横浜に停泊。▼コロナの発  
生で一ヶ月以上も。コロナ  
アモンド・プリンセス号で  
世界的流行でFFの活動  
も不能となりとうとう3年  
も交換が出来なくなり、や  
つと去年の秋ごろから今年  
になつて活動が再開された。  
▼この5月にはアメリカ・  
コロラドスプリングスから  
福岡・大分クラブへの交換の  
前に東京に寄りたいという  
希望で、以前にコロラドス  
プリングスにホームステイ  
した人に声がかかり5月  
10日私は銀座のホテルへ。  
そしてそこで13年前にホ  
ームステイしたダンさんと  
再会！感激も一入！  
大きな体で紳士であるダン  
さん！夢のような現実でし  
た。▼コロナもやっと収ま  
ってきて3～4年の空白を  
これから取り戻してゆく兆  
しを感じたダンさんとの再  
会は私の人生の伝説になり  
そう。感謝感激！(S.E)

日本の文化が大好きと仰る Amy/Kim 夫妻は全てのイベントに参加し、理解を深めたよう。。。観光はデイホストにお願いし、この日は鎌倉散策から戻った時「とこさんにお土産です」と手渡された鎌倉名所がイラストされたお布巾。何と嬉しいことでしょう！今迄に私がこのような思い遣りを示した事があったらどうか？Amy さんの心遣いを学んだ事でした。

【余村とこ】

4年前に  
交流で親  
しくなっ  
たソウルク  
ラブを受入  
れる事にな  
り同窓会の様  
な懐かしさと  
今回初めて会う  
ソウルクラブの人達  
との出会いは大変楽しい  
ものだった。目覚ましい翻  
訳機の進歩で簡単に意思の疎通  
が出来、いやそれ以上に会話が弾んだホス  
トもいた。5月7日にソウルクラブの面々  
が岸田総理訪韓歓迎の横断幕を持って街  
を歩いている写真が送ってきた。FF 活  
動の原点。嬉しいですね！【堤由紀枝】

女性のアンバ 13人皆色白、つるつるの肌だった。我が家に来たギルスに「何が好き？」と聞くと即座に「納豆」と言う。我々はご飯のおかずにするが、粘りを出しそのまま食べる。韓国へ行った時、自分の家の地下のカメに取れた野菜をキムチのたれに漬け、毎日色々な野菜を出してくれた。発酵食品、健康志向の国なのだ。納得！  
【西岡光世】



### ホスト

HC 堤由紀枝 AHC 田中裕海 島田信子 宮本晴子  
余村とこ 水野幸子 深谷泉 風間ゑみ 西岡光世  
作田多香子 水上恵子 井上清子 檜山照子



**久しぶりの渡航！**

# FF / ニュージーランド(ニュージーランド)

**2023年6月9日(金)～6月15日(木)**

初冬のニュージーランド、北島 Whangarei の自然を満喫しました。マオリの歌の集会にも参加できました。**アンバサダー12名の声です。**

私のホストは Robyn さん。適切なマッチングで彼女との趣味が一致して最後迄盛り上がりました。料理も手早くお庭も美しく愛犬の Ebony もフレンドリーで別れが寂しかったです。

小川幸子(埼玉クラブ)

はじめてのニュージーランド。至る所で羊や牛が広い土地でゆったりとしていました。ホスト宅は綺麗で食事も美味しかったです。また是非行きたいです。

柏原幸子

コロナ明けの NZ 渡航、FFpledge を再認識/再確認しました。ホストは最初のアンバ受入でしたが、心からのもてなしは私を感激で包み 4 度目の NZ 訪問を忘れ難いものとしました。有り難うホスト Robyn そして

Northland クラブ!

神吉節子

初めてのホームステイは観光とは違う楽しみ方を体験出来ました。国も違い言葉も交わせなくても人の心に触れ合えたのはすごい事だと感じ、自分の言葉で交流ができたらもっと楽しくまた自分自身が成長できたのではないかと思います。旅行で命の洗濯ができました。

斎藤恵子

ホストの Catherine は 3 人の息子の母。娘がなく、今回「娘が出来た！」と大喜び。料理もすべて手作り、食欲も旺盛でした。食べ残した食材はコンポストに。庭の植物の肥料にし自然に即した生活をしていました。

佐藤寿美子(AAC)

ホストと暖炉を囲みながらいろいろな話をしたこと、誕生日(6/15)にホストや、(翌日だったが)航空会社からお祝いされたことが印象的です。

田中裕海

ホストの家から夜空の星が綺麗にたくさん見えたこと。モーニングティやウエルカムパーティーなど自然で手作りでのおもてなし、ホストや HC の GG のホスピタリティが感動的だった。

田中浩代



Whangarei の空港で

冬だと言うのに、色とりどりの花が咲き、満天の星を何度も目に焼き付け、澄んだ空気の匂い 1 つをとっても、大自然を感じた国 NZ。最高のホスピタリティを示してくれたホスト、リンピラスには感謝の言葉しかない。

堤由紀枝

「出会い」の喜びを再認識させられた旅でもありました。話せば長い。「困難は喜びでしかない！」こんな素晴らしい発想にも出会うことができましたよ～。

西村純枝(埼玉クラブ)

ホストとの交流を通してニュージーランドの平和な暮らしや自然の美しさがわかり、とても楽しい渡航でした。マオリについても知識が深まり、歌で心が繋がるのも良い経験でした。

前田恵子

現地の方宅にホームステイ。未知の世界に好奇心と不安が一杯。いざ交流が始まると、毎日発見の連続、人と人の優しい繋がりに感動と楽しさを覚え、この国際交流に参加させて頂き、人生の楽しみ・幅の広がりを感じ、携わって下さった全ての方々に感謝いたしました。

宮井夏江

感動の連続！素敵なホスト！楽しい仲間！…

感謝の気持ちでいっぱいです。

水上恵子(AC)

HP の写真集も見てね。



## ～新会員の自己紹介～

ホームステイを通じた相互理解で世界平和をという素敵なかいの会員となり、新しい出会いが楽しみです。伊古田 佐枝子



英語も出来ませんが、皆さんと一緒にいろいろ体験をしてみたいと思います。よろしくお願いします。齋藤 恵子



初めまして。テニスと海外・国内旅行、わんちゃんが大好きで、好奇心旺盛。宜しくお願い致します。

宮井 夏江



私よりも、ずっと先輩の方々が生き生きと活動されているので、とても触発されます。よろしくお願いします。  
渡辺 いづみ



おしゃらせアラカルト

◆ ノースモートン&ブルーマウンテンズ(オーストラリア)受入のお手伝いをしてくださる方を、引き続き募集しております。

HC 高橋 亜紀 AHC 原 光江

◆ 11月上旬に予定しておりました渡航のセントラルアリゾナ&サンフランシスコベイエリア(USA)の渡航は中止になりました。

## 2023年 Calendar

10月 2~5日	世界大会(クロアチア)
10月 24~30日	ノースモートン&ブルーマウンテンズ(オーストラリア) 受入

編集・発行 フレンドシップフォース東京

FF 東京事務局 Email : [fftokyojimukyoku@gmail.com](mailto:fftokyojimukyoku@gmail.com) Tel : 0466-87-9305

## 【初試みプログラム】6/9~6/10

“Global Youth Journey For Japan”に参加して

中高生とその祖父母という組み合わせが来日。広島でのホームステイの前三日間東京に滞在。高校を見学したり都内を散策したり。私も中学生の孫を連れて交流に参加。若者はスマホ情報を使いこなして直ぐに一人歩きが可能に。お祖母さま達は足が痛んだり、食べ物が合わなかったり。そこは若者がシニアを助けて楽しく過ごしました。

宮本 晴子

\*\*\*\*\*

私は10代の若い方達は当然‘かわいい’が好きだと思っていました。しかし、原宿竹下通りの‘かわいい’文化より、明治神宮内部の事に興味津々で質問してたり、写真を撮ったりしている姿を目にすることができました。日本の今を楽しむだけでなく、日本の本来の姿に興味を抱いてくれていることを実感し、感動しました。

中山 美久 (中山敬子さんのお孫さん)



## 》》》 2024年6月の渡航！！

ウェスタンコロラド&ミッドウェットヴァレイ(USA)のACとAACを募集しています。奮ってお申込ください。

## 【編集後記】

1967年米国からの帰国の機内で隣席の若い米国紳士から、その後、米国文学書を約30冊プレゼントしていただきました。若い頃の「足長おじさん」への恩返しに国際協力に関わってきて、FFはその延長です。